



日時: 2013年 5月29日(水)
13時15分～17時10分

会場: 帝京大学霞が関キャンパス
教室4・5
東京都千代田区平河町2-16-1
平河町森タワー9階 電話: 03-5213-4502

交通: 東京メトロ有楽町線, 半蔵門線, 南北線
「永田町駅」より徒歩約1分(4番出口)
銀座線, 丸ノ内線 「赤坂見附駅」より
徒歩約6分 (7番出口)

参加費: 無料

お申込み先:
帝京大学ジョイントプログラムセンター
田沼唯士
FAX 03-3964-5486
E-mail: t-tanuma@med.teikyo-u.ac.jp
参加申込みはできるだけ電子メールにてお
願います。
定員: 先着70名
申込み期限: 5月24日金曜日(ただし定員
になり次第申込み締切)



エネルギー・電力需給の現状と課題: 経済と技術、そして国際協力の展望

地球規模でのエネルギー・電力問題への対応・克服には、需給構造のベストミックスとコストの低減及びCO2の制約内での安定供給が望まれます。「3・11」の東日本大震災以降、原子力発電と火力発電の供給割合が大きく変動し、地球環境保全の観点からも消費者が負担する費用の観点からも理解が得られる合理的で現実的な電力・エネルギー供給の将来像が必要とされています。今回は、日中韓におけるエネルギー需給情勢の最新の情報を共有し、経済学と工学など複眼的視野を融合させて、エネルギー・電力の安定供給に関する課題と施策、そして将来像を国際協力の観点と連携の必要性も含めて講演します。施策実現に向けて教育と研究が果たすべき役割についても考えたいと思います。

プログラム

- | | |
|---------------|--|
| 13:15 - 13:25 | 開会挨拶
帝京大学理事長・学長 沖永 佳史 |
| 13:25 - 14:05 | 「日本のエネルギー需給の現状と課題
東アジア地域消費国(日中韓)の連携・協力」
豊田正和
日本エネルギー経済研究所理事長 |
| 14:05 - 14:45 | 「中国のエネルギー需給の現状と課題
及び国際協力」
郭 四志 帝京大学教授 経済学部 |
| 14:45 - 15:25 | 「韓国のエネルギー需給の現状と課題
及び国際協力」
Professor Ohn Ki Un
College of Economics, Soongsil University |
| 15:25 - 15:40 | 休憩 |
| 15:40 - 16:20 | 「電力エネルギー安定供給への選択肢
と課題」
橘川 武郎 一橋大学教授 商学研究科 |
| 16:20 - 17:00 | 「電力エネルギーシステム技術の課題と
展望 再生可能エネルギーから次世代火力まで」
田沼 唯士 帝京大学教授
ジョイントプログラムセンター、理工学部兼任 |
| 17:00～17:10 | 閉会挨拶 廣田 功 帝京大学経済学部長 |

(講演題目と内容の一部が変更になる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。)

主催: 帝京大学 (経済学部・ジョイントプログラムセンター)